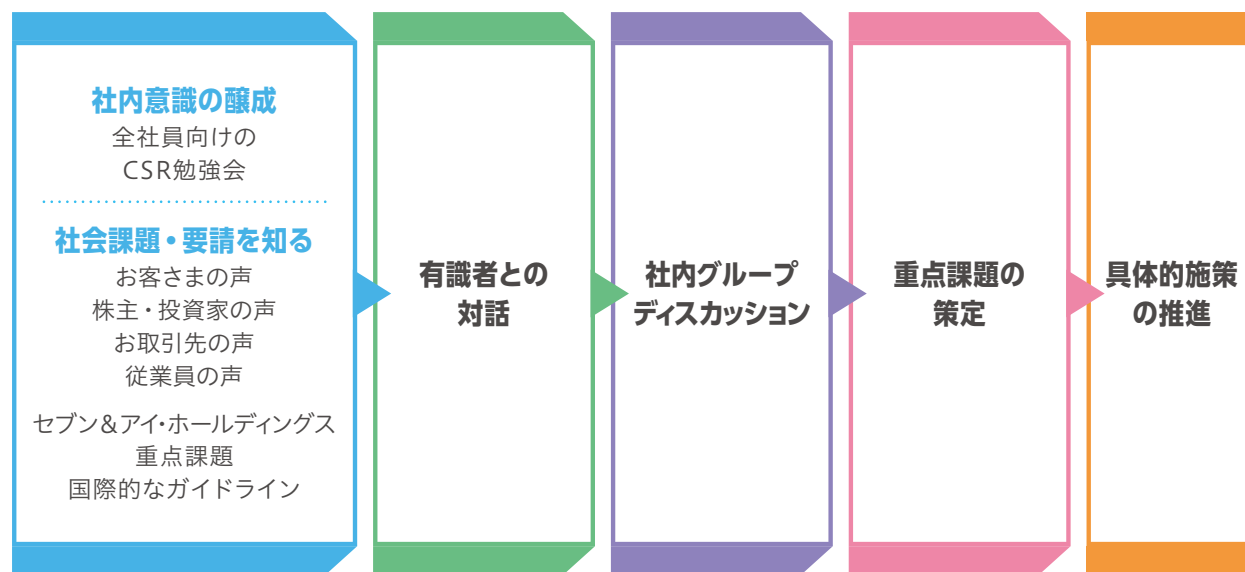


さらなる企業価値の向上を目指して

価値創造ストーリーの推進

セブン銀行は社会課題や環境課題など向き合うべき問題を明確にし、当社が持つ強み・独自性を活かすことで、新たな事業、サービスの創造に取り組んできました。中長期的な視点から企業としての責務を果たすことで、社会課題の解決と企業価値の向上の両立を目指しています。



社内意識の醸成

セブン銀行の持続的成長に向けて、従業員一人ひとりがCSR活動の目的・意義を理解するため、2018年度上期に社内勉強会を開催しました。当社を取り巻く環境はステークホルダーの期待や社会要請によって変化し、現在はESG、SDGsの観点が重要になっていることを共有しました。同時にディスカッションを通してセブン銀行の事業活動をESG、SDGsの観点で捉え直し、日常業務との関連性を知る機会となりました。これからも引き続き従業員一人ひとりが意識を高め、CSR活動に取り組んでいきます。



社内勉強会

重点課題策定の意義

- 多様化する社会課題や要請に対し、特に重視すべき課題に集中・適切に対応
- 事業機会を損失していないか、チャンスを持っているかを見直す機会
- 新しいマーケットを創出し、新たなビジネスを生み出すきっかけ

有識者との対話

CSRが求められる理由、重点課題の概要と社会的背景などを踏まえ、多様化する社会課題や要請に対し、セブン銀行がどのようなことに注力すべきなのかを議論するため、有識者の方と役員、部長職層で対話を行いました。

社内グループディスカッション

従業員一人ひとりがセブン銀行の重点課題を自分ごととして捉え、課題の背景を理解し、課題解決に向けた取り組みを考えるため、各部から集まった有志の従業員でグループディスカッションを行いました。グループディスカッションであがった参加者からのさまざまな意見を、重点課題策定につなげていきます。

具体的施策の推進へ

Topics トピックス

「交通系電子マネー」および「楽天Edy」のチャージがセブン銀行ATMで可能に

デジタル決済の広がりを踏まえ、より多くのお客さまにセブン銀行ATMをご利用いただくため、2018年10月15日より、全国のセブン銀行ATMで「交通系電子マネー」、「楽天Edy」のチャージ(入金)および残高確認の取扱いを開始しました。これまで、電子マネー「nanaco」のチャージや残高確認で使用していたATMの電子マネーリーダーを活用し、「交通系電子マネー」および「楽天Edy」のご利用が可能となりました。

